

すしらむ

ひがしおおさか せいせい
東大阪こども市政だより
だいごう へいせい ねんがつ
第11号 平成22年7月
(2010年)

発行 東大阪役所 経営企画部 広報広聴室 広報課
〒577-8521 東大阪市荒本北1丁目1番1号
TEL06 (4309) 3000
FAX06 (4309) 3821
ホームページ
<http://www.city.higashiosaka.osaka.jp/>



市内のなかまたち 小学校1年生 4,184人 2年生 4,411人 3年生 4,589人 4年生 4,558人 5年生 4,748人 6年生 4,876人 (平成22年5月1日現在)

おおさかし 大昔へタイムトリップ みて・さわって・体験しよう!!

ほくは、東大阪市のマスコットキャラクター「トライくん」だよ。
今日は、「買頭衣」という大昔の服を着た縄手南小学校5年生のみんなとつしよに火おこし体験をしたんだ。
みんなは、東大阪市の大昔がどうなっていたか知っているかな。
東大阪には「遺跡」という大昔の人が生活した跡がたくさん見つかっていて、歴史を学べる施設もあるよ。
ほくとつしよに、みんなも東大阪市の歴史を見て・さわって・体験しよう。



大昔のページも
読んでね

歴史を見て・さわって・体験して 新しい発見をしよう



まが玉づくり



火おこしでついた火種を消さないように「フーフー」

体験

郷土博物館でも8月に「火おこし」「竹ぼっくりづくり」を開催するので、ぜひ挑戦してみましょ。くわしくは、次のページの「歴史が学べる施設」に問い合わせてください。



復元された竪穴住居



竪穴住居の中

（トライくん）大昔の人はどんな家に住んでいたの？
（勝田さん）「竪穴住居」といって、円形に掘った穴に柱を立てて、木をつなぎあわせて家の骨組みを作り、その上からススキやアシなどの植物で屋根を作った建物に住んでいたんだ。

発掘された竪穴住居の敷地内には、実物大の竪穴住居が復元されていて、中に入ってみることが出来るよ。



発掘ふれあい館 勝田邦夫さん



さわって



（トライくん）大昔の人はどんな食器でごはんを食べていたの？
（勝田さん）大昔の人は、土をねって乾かし、焼き上げて作った「土器」というものを使っていたんだ。また、大昔の人が食べ物を煮炊きしてできた焦げ跡も手に取って確認できるよ（写真左）。



約2000年前の人が食べたシジミの貝殻とシカの骨（発掘ふれあい館）

大昔の東大阪市は海だった!?

えっ!



約6000年前の東大阪市は、生駒山（うまこやま）のふもとまで河内湾という海が広がっていました。豊かな海と生駒山の自然が大昔の人々の生活を支え、たまたまの人が生活していました。

縄文時代から古墳時代とよばれる時代の東大阪市の遺跡には、全国的に有名なものがたくさんあります。さあ、歴史の扉を開いてみよう。



弥生時代

今から約2400年前（約3000年前との説もある）から約1700

年頃までを弥生時代といえます。弥生時代は、朝鮮半島から米作りを中心とした新しい文化を伝えた人々が、縄文時代の伝統も残しながら生活していた時代です。この時代には、河内湖といわれる湖がありました。その湖の周りは、稲作に適した土地で、多くの水田があり、市内の遺跡から米作りの道具が見つかっています。



発見された農具

古墳時代



今から約1700年頃から約1400年頃までを古墳時代といえます。古墳とは、その土地の有力者の大きな墓のことです。市内の生駒山ろくなどでもたくさん古墳が見つかっています。生駒山から大きな石を運び、石室と呼ばれる部屋を造り、その中に死者を葬っていました。郷土博物館の周辺には山畑古墳群という古墳の集まりがあって、博物館の敷地内にある山畑22号墳（写真）では、実際に中に入ることができます。

縄文時代

今から約1万2000年頃から約2400年頃まで（約1万6500年頃から約3000年頃までとの説もある）を縄文時代といえます。この時代の東大阪市は、山と海に囲まれ、そこで

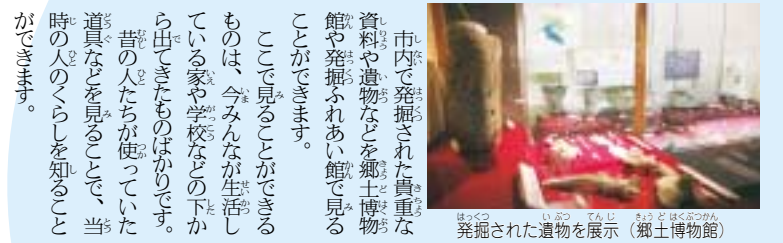
ウツミの骨

昭和49年、布市町でウツミの骨が見つかりました。この骨は、約5000年頃に東大阪市が海だったころ、遠くから迷いこんでしまったマッコウクジラのものです。郷土博物館と発掘ふれあい館で展示されています。



体長約10mのマッコウクジラの骨の一部

昭和57年、日守町で縄文時代の髷（まげ）が見つかり、手足を折り曲げて葬られた人骨が34体も発見されました。その中の1体が発見されたままの姿で郷土博物館に展示されています（写真左）。



発掘された遺物を展示（郷土博物館）



約2000年前の人が食べたシジミの貝殻とシカの骨（発掘ふれあい館）

（トライくん）貝殻がたくさんあるけど、これは何ですか？
（勝田さん）これは「貝塚」とよばれる昔の人のごみ捨て場です。海や湖からとってきた貝や魚、山からとってきた動物の骨などが捨てられていたんだ。発掘ふれあい館では本物の貝塚の一部をはぎ取ったものを展示しているよ。



東大阪市は遺跡の宝庫

市内にあるたくさんの遺跡は、道路を作ったり、建物を建てたりするときの発掘調査で見つかっています。

市内で最近発掘調査が行われていたのは、近鉄瓢箪山駅と枚岡駅の間で、生駒山のふもとにある河内寺廢寺跡(写真)です。

この寺は、約1300年前にこの場所に住んでいた有力者の寺と考えられています。市では、何度か寺があった場所を調査し、瓦などさまざまな遺物を発見しました。

ひよっとしたら、学校や家の下にも、びっくりするような遺跡が眠っているかもしれません。



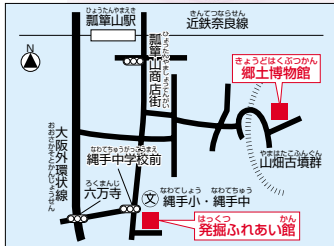
郷土の歴史にふれる 郷土博物館

郷土博物館は、生駒山の標高100mの場所にある「山畑古墳群」という遺跡の中にあります。郷土博物館では、町に人々がくらし始めた約2万年前から昭和時代までの道具の展示や活動のようすなどを通して、東大阪市のあゆみを知ることができます。

◇開館時間 午前9時30分～午後4時30分
※月曜日(祝日の場合は除く)と祝日の翌日(土・日曜日を除く)は休館。
◇料金 大人50円、高校・大学生30円、小・中学生20円
◇ところ 問合せ先 上四條町18-12 郷土博物館 072(988)6341、FAX072(986)1432



発掘ふれあい館(埋蔵文化財センター)は、縄手小学校体育館を建てる時に調査して見つかった丸い筒状のはにわ(土壇)に並べる素焼きの焼き物・写真左をイメージして建てられました。



大昔の生活を体験 発掘ふれあい館

発掘ふれあい館は、市内の発掘調査の出土品などを保存するとともに、展示しています。また、「火おこし」などの体験学習もできます。

◇開館時間 午前9時30分～午後4時30分
※月曜日(祝日の場合は翌日も)と祝日は休館。
◇料金 無料
◇ところ 問合せ先 南四條町3-33 発掘ふれあい館 072(988)2340、FAX072(988)9411

行ってみませんか 歴史が学べる施設

2・3面で紹介した「郷土博物館」「発掘ふれあい館」へ行ってみませんか。

近鉄花園ラグビー場にラグビーワールドカップの試合を呼び込もう!



市役所の職員もトライクンと同じラグビーシャツを着てアピール

2019年に日本でラグビーの世界一を決める大会「ラグビーワールドカップ」が開催されます。この試合を高校ラグビー大会で有名な近鉄花園ラグビー場で開催してもらいたい。

みな取組んでいます。その取組みとして、市内のラグビーイベントなどでワールドカップの試合が開催されるように呼びかけたところ、約7000人分の開催を願う署名が集まり、東京にある日本ラグビーフットボール協会へ提出しました。

ラグビーワールドカップは世界の注目が集まるので、東大阪市を世界中に知らせるチャンスです。今後市では近鉄花園ラグビー場でラグビーワールドカップが開催されるように努力していきます。みんなも応援してくださいね。

瓢箪山駅前商店街のマスコットキャラクター



キューたん

瓢箪山駅前商店街のマスコットキャラクター「キューたん」は、緑色のひょうたんからキューピー人形が顔を出している。



ぞかせています。瓢箪山駅前商店街では「ひょうたん」を使ったまちおこしをしていて、「キューたん」は商店街をさらに盛り上げるために新しく作られました。瓢箪山駅前商店街にある「ひょうたん」がずらりと並んだ「キューたんステーション」を訪ねてみませんか。



ラグビーの楽しさを体感 元日本代表選手が来たよ



ラグビーの楽しさを体感 元日本代表選手が来たよ



ラグビーの楽しさを体感 元日本代表選手が来たよ